

都立上野高校
進路通信3年生版
羅針盤第5号



令和4年9月1日(木)
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

75期生のみなさん、実力急上昇の秋を迎えました！ ～目覚めた秘めたる力。君たちの力はこんなものではない～

受験の天王山の夏休みが終了しました。基礎力をしっかり固めて苦手克服にベストを尽くすことができましたか？

「全力を出して勉強しまくった！」という人も多いと思いますが、「不完全燃焼で、目標に届かなかった」という人もいます。

9月以降は夏休みまでに身につけた基礎力を土台に、この時期からは問題演習などの本格的な受験勉強を行う時期といわれますが、10月までは夏休みまでに習得しきれなかった基礎学力の充実や苦手科目の克服に時間をかけてもかまいません。日頃の授業の延長に合格はあるということを忘れないでください。そのために苦手分野をなくすとともに、得意科目を伸ばしていきましょう。

現役生は、9月から入試本番まで、実力が一番伸びるといわれています。

第一志望の国立大学に合格したある先輩は「学力は勉強時間に比例して伸びると思っていたけどそうではなかった。伸びてる実感がないと思ったら、何度か加速度がついてブレークして偏差値が急上昇する時があって驚いた」と受験を終えての感想を書いていました。なにかとあせってしまう時期ですが、「現役生は、最後の最後まで学力は伸びる」という言葉を信じて、みんなで受験を乗り切っていきましょう。

【共通テスト重視型国公立大受験のみなさん】

2学期の前半は、共通テストで確実に得点がとれるように基礎力を重視しましょう。暗記を確実にしたり、問題集や過去の模試など不正解の問題やあいまいで正解した問題もチェックして、不安な分野をひとつずつなくすことが大切です。

【個別学力検査重視型国公立大受験のみなさん】

2学期の前半は共通テストで確実にとれる基礎力をつけるだけでなく、受験校の出題形式や傾向を確認して、個別学力検査に課される科目の苦手分野をなくすことを心がけましょう。

【私立大学受験のみなさん】

2学期の前半は難易度に幅を持たせて、受験校を数校に絞り込みましょう。学習面では、苦手な分野をなくすとともに、得意科目をつくり、伸ばすことが大切です。私立大学は、国公立大学に比べて、受験教科が少ないので、難関大に合格するためには、受験教科をより極めることが必要になります。文系なら英語・古典・現代文・地歴公民は得点源にしてい。理系では数学と理科で差がつくのは確かですが、得点が安定する英語を苦手にせず武器にすることです。第一志望校の過去問の傾向・内容を調べ、いろいろな問題を多く解きましょう(過去問はまだ解かなくてもよい)。理科・地歴公民は基本事項を徹底させ、成績を伸ばしましょう。



共通テストへの準備を万全に！

3年生の皆さんにとっては、いよいよ受験に向けての具体的な作業が始まるのもこの9月です。例年9月は高校生活最後の行事の文化祭がありますが、今年はコロナ感染予防のために文化祭は校内のみで行います。残念と思う人もいると思いますが、夏休みから積み上げた勉強のペースはそのまま継続しつつ文化祭で思い出をつくりましょう。

共通テスト 志願票提出締め切り 9月14日(水)

指定校・学校推薦型入試第1回応募締め切り 9月7日(水)

これからみなさんには、大学入試共通テストの受験案内が配布されます。出願まで2週間、試験本番まで4か月あまりです。あせらず、一步一步進めていきましょう。まずは、出願票の下書き作りです。簡単な作業のようですが、どこかに書き残しやマークのつけ忘れがあるものです。

なお大学入試センターのホームページ<http://www.dnc.ac.jp/>には、受験に関する注意事項や過去3年間の問題など役に立つ情報がたくさん載っています。



大学入試センター

勉強バッチリ第一志望合格タイプ

- ◎人が使っている教材に惑わされず、普段から学校で使っている教材を信じて、徹底的に使いこなす。
- ◎友達がいてもお互いに黙って自習に集中して専念できる。
- ◎きちんと計画を立てて、時間を見ながらペースを考えて学習を進めている。
- ◎規則正しい生活で睡眠も十分で、集中力が続く。
- ◎理解する・覚える・問題を解くといった学習内容をうまく組み合わせている
- ◎日頃の授業や補習の学習内容をきちんと押さえ、授業や補習に生かしている。
- ◎英単語や古文単語などは、スキ間時間を活用して集中して暗記する。

勉強イマイチ伸び悩みタイプ

- ◎友達とお喋りしたり、携帯をいじりながら勉強し、集中しない。
- ◎好きな教科ばかりを学習し、苦手なものはなかなか手がかからない。
- ◎休憩がやたらと多く、集中する前に休憩してしまう。
- ◎何かを暗記する時に、ただと眺めているだけだったり、携帯が気になったり、のぞいたり、実は頭に入っていない。
- ◎受験問題集に取り組むことこそ受験勉強だと勘違いし、日頃の授業、補習、小テストの学習がおろそかになっている。
- ◎先生から言われている地味な学習にきちんと取り組まず、やたらと勉強法ばかりを先生に尋ねては、近道をする特殊な方法があると勘違いしている。
- ◎寝る前にSNSやゲームに時間を取られ、睡眠時間が少なくいつも眠い。



大学生チューターが自習室に配置されました！

自習室を利用している人は気がついていますが、74期生の大学生チューターが配置されています。分からない箇所の質問だけでなく、勉強法、進路選択の方法など何でも遠慮なく質問してみましよう。

【令和4年度チューター(敬称略)】井上 敦貴(東京学芸大学)・蓮本 颯人(東京都立大学)・佐々木 剛(筑波大学)・江原 樹里(東京学芸大学)・田中 敦也(東京理科大学)・平井 肇(中央大学)・小林 真緒(早稲田大学)・小原拓也(学習院大学)

先輩からのメッセージ「英語はできて当たり前！有名私大は国社で勝負する」 73期 慶應義塾大学文学部 K.H君

【私大文系志望の皆さんへ】

早稲田が第一志望だったので、英・国・社メインで勉強しました。科目数が多い国公立大に比べて楽そうに思えますが、上高生の多くが希望するGMARCH以上の私大は、最終的に3教科得意にする必要があります。英語はできて当たり前です。英語を極めた上で、国語と社会で勝負をかける意識を持ちましょう。

【各教科の勉強法】

○英語：単語・文法を固めることが大事。学校の教材で十分です。その上で英語の長文をたくさん読みましょう。英語はシャワーのようにたくさん勉強すると比例して伸びます。演習と復習をうまく組み合わせて進めましょう。

○日本史（世界史）：教科書で流れを理解し、一問一答で知識の確認をする。ある程度定着したら、問題集で再確認するこの繰り返しで完璧にできます。暗記は集中が大事です。

○古文：基本三本柱（単語・文法・古文常識）が大事です！特に文学史を含めた古文常識を知っていると出典を隠した入試問題の読みやすさがケタ違いに良くなります。主語がどこで切り替わるかは動詞で判断しましょう。日本一難しい古典は早稲田の古典です。古典を極めたければ、挑戦してみましょう。

○漢文：とにかく単語・句法を覚えること。これさえできればある程度問題は解けます。あとは漢文常識を含めた文脈で判断しましょう。漢文が苦手な人は、書き下し文と現代語訳の練習をおすすめします。得意な人は早稲田の入試問題に挑戦しましょう。

○現代文：ただやみくもに演習をするのではなく、復習をしてどんなアプローチで解いていくかを確認するのが大事。読み方・解き方を解説している問題集か参考書で確認しましょう。おすすめは『はじめての入試現代文』と『はじめての次の入試現代文』（河合出版）です。漢字と評論用語の学習も忘れないでください。

【総合型選抜入試について】

今各大学は総合型選抜入試を増やしています。自分自身9月に併願可の慶應の自主応募制推薦を見つけました。第一志望は早稲田でしたが、ここで合格をキープできれば、安心して一般入試にチャレンジできます。要項を見て、チャンスを逃さず、自分のものにするのも一つの方法です。

先輩からのメッセージ「理系教科は極めました！国公立大志望は中期・後期も視野に！」

72期 東京理科大学工学部 F.M君

【国公立大志望の皆さんへ】

東京工業大が第一志望だったので、英・数・物化メインで勉強しました。国語や社会は共



通テストのみで、東工大の場合は二次の英数理で合否が決まるので、足を引っ張られないように、すき間時間を使って効率よく勉強しました。結果的に千葉大・筑波は共通テストB判定でした。東工大の共通テスト判定はC、配点の高い二次勝負でしたが、残念ながら不合格でした。悔やまれるのは併願です。後期に共通テストB判定だった千葉大か筑波に出していれば、合格の可能性大でしたが、東工大しか頭になかったので、出願しませんでした。私立大も理科大と電機大のみ受験で、早慶あたりも出願しておけばよかったです。国公立大志望の人は必ず後期（中期）を併願することをおすすめします。私立大もきちんと併願していくと悔いが残りません。理系の人は地方国公立大の選択肢もあります。

【物理の勉強法】

○物理にはセンターで満点をとる自信があり一番の得意教科でした。共通テストの問題文は長いですが、何を問われているのかをちゃんと読み取ることが出来れば、大丈夫です。会話文や実験の説明などに惑わされないようにしましょう。

①力学

一番の得点源です。まずこれが完璧にできるか確認しましょう。運動方程式だけでなく、力積、エネルギーなどをしっかり理解しましょう。また応用問題が多い分野なので、実践問題にたくさん触れておきましょう。

②波動

基礎的なところを押さえられているかがカギです。単振動などから、公式がつながっているのか、苦手意識がある人は、どこから理解できていないか、さかのぼって確かめましょう。またドブラー効果やスリットなど、出題のパターンが限られているので、センターの過去問などで練習していくと得意分野になります。

③電磁気

問題を解いている時に、「なぜこの公式を使うのか」と思ったり、そもそも苦手だと感じている人は、教科書や参考書を初めから読み直しましょう。使う公式が序盤からずっとながっているのか、理解に穴があると、応用問題につぶされます。公式のつながりを意識して勉強しましょう。

④熱

物理での熱力学は、問題数が少ないですが、化学とかぶる範囲なので、ちゃんと理解しましょう。とにかく状態方程式が大事です。

地方の国公立大は魅力的！

去年の74期生は、東京だけでなく全国に目を向け、金沢大学、高知大学、茨城大学等多くの合格者を出ています。地方の国立大のメリットをまとめてみました。

①学費と生活費が安い（格安な寮やマンションも安い）

②海や山など自然が近く、ラッシュや人混みとは無縁

③真面目で優秀な学生が多く、丁寧な就活サポート、東京での就活もスムーズ

④勉強や研究に集中できる

⑤施設や設備が充実しており、少人数の学科人数 などです。

【地方国公立大に進学した先輩の声】

「自分の興味のある学部があったので志望しました」（74期 H.H君 前橋工科大学工学部）「コロナが少ない地方で、大好きなスポーツで思いっきり身体を動かしたかったので志望しました」（73期 I.T君 鹿屋体育大学）「一人暮らしや静かで自然の多い環境で勉強したいと思いました」（73期 S.Mさん 信州大学繊維学部）「第一志望は千葉大でしたが、少人数で大好きな社会系の勉強ができて充実しています。その上優秀奨学生になることができました。」（72期 O.S君 都留文科大学教養学部）